



- ★認知症施策推進基本計画等
- ★認知症カフェ交流会報告
- ★介護技法研修会報告

発行：北九州市認知症支援・介護予防課  
 北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号  
 ☎ 093-522-8765

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/28000368.html>

認知症地域支援推進員  
 中村 真理子・松岡 由佳・福嶋 深幸



## 「認知症施策推進基本計画」で締めくくる激動の年！

### ◆12月3日に成立した「認知症施策推進基本計画」の中で「新しい認知症観」が示される！

#### 新しい認知症観とは…

「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方」です。

➡認知症は社会全体の問題です。「本人と家族」という、いわば「点」から、企業も巻き込んだ地域全体という「面」で対応していく時代になりました。「認知症施策推進基本計画」では、認知症の人も含めた国民一人一人が「新しい認知症観」に立って、認知症の人が自らの意志によって、多様な主体と共に、日常生活及び社会生活を営むことができる共生社会を創り上げていく必要性や、認知症の人が、認知症の状況に応じて、最期まで自分らしく暮らせるよう、周囲の人の支えも得ながら、尊厳を保持できるようにすることが重要だと記されています。

### ◆11月下旬はAR体験のファシリテーターを務めました！

認知症地域支援推進員が7区を回り、主に地域包括支援センターでお仕事をする皆さんに「高齢者や認知症の方には、同じ風景がどのように見えているのか」疑似体験していただく事業のお手伝いをさせていただきました。「似通った色の識別が難しい」、「視界が狭いことが理解できたので今後の仕事に活かしていきたい」といった感想を参加の皆さんからいただきました。認知症の方の行方不明を想定した搜索模擬訓練の事前研修の際に、「正面から、相手の瞳に自分が映っていることを確認してから声をかけてくださいね」と伝えていましたが、今回の研修に関わったことで実際にその様子を体験することも出来てよかったですと思いました。

AR体験中の様子



### ◆9月の認知症月間でも注目されたのは「本人の声」！

1月1日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され9月は全国的に「認知症月間」になりました。9月1日号の市政だより「認知症特集」は本人とご家族のインタビューで構成され、多くの反響がありました。若年性認知症本人がモデルになった映画「オレンジ・ランプ」の上映会や、上映前に開催した本人トークへの共感も「本人の声」を聴きたい、知りたいと多くの人を感じている証だと思いました。

※北九州市の認知症月間の取り組みにつきましてはHPをご覧ください。

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/28000320.html>



# 認知症カフェ交流会

北九州市内には、広報事業に登録いただいている認知症カフェが33か所あり(令和6年11月30日現在※カフェ・オレンジを含む)、アフターコロナの現在はほとんどのカフェが再開しています。

本市では、認知症カフェ運営者や開設希望者、関係職員を対象とした「認知症カフェ交流会」を毎年開催しており、今回は40名の参加がありました(9月9日開催)。

交流会では、市委託事業『カフェ・オレンジ』の運営団体である認知症・草の根ネットワークの田代氏と、自宅を認知症カフェとして立ち上げられた八幡西区『本城御開認知症予防カフェねこの手』の池ノ上氏よりカフェの活動状況について発表いただき、グループ交流では、活動報告についての感想や、自身のカフェでやってみたいこと等について話していただきました。

認知症や介護についての情報収集や学びの場、またつながりの場として、個々のカフェが持つ個性や、得意なことを生かした認知症カフェについて共有できる貴重な時間となりました。



「認知症・草の根ネットワーク」田代氏 「本城御開認知症予防カフェ ねこの手」池ノ上氏 グループ交流会の様子

## 介護技法講演会開催！

認知症ケア技法「ユマニチュード®」って知っていますか？

ユマニチュード®は、フランスの体育学教師イヴ・ジネスト氏とロゼット・マレスコッティ氏が考案した「知覚・聴覚・触覚などを用いたコミュニケーション技法」で、認知症の方の尊厳、意思決定を重視した介護技法とされています。



北九州市「介護技法講演会」の様子



昨年に引き続き日本ユマニチュード学会より、ユマニチュード®認定チーフインストラクター南福岡脳神経外科病院リハビリテーション部副部長 安武澄夫氏を招き、9月24日(火)に総合保健福祉センター(アシスト21)2階講堂で市民向け介護技法講演会を開催しました。

当日は118人の方が参加され、事後のアンケート結果では、84%の方が講演会の内容が「大変良かった」と回答されていました。また、「ぜひ参加したい」「あれば参加したい」と回答されている方が合わせて90%と、認知症や介護への関心が高いことがわかりました。

